

令和6年度学校法人藤村学園事業報告書

(認定こども園旭幼稚園・あすなろ保育園)

1. 法人の概要

(1) 建学の精神

人間性豊かな園児の育成

《教育方針》

人間としての礎が作られるかけがえのない幼児期に、最もふさわしい保育環境の中で、人とかかわりに配慮した心豊かな経験を積むことによって、意欲と思いやりを持った素直な子の育みを目指す。

(2) 沿革

昭和11年4月1日	東京都王子区に旭幼稚園として東京都の認可を受け開設。
昭和19年5月1日	太平洋戦争により空襲がはげしくなり、幼稚園を閉鎖する。
昭和28年4月1日	山口市矢原1121番地（現所在地）へ旭幼稚園を再建する。
昭和49年1月1日	学校法人藤村学園となり旭幼稚園を設置する。
平成30年3月26日	学校法人藤村学園認定こども園旭幼稚園となり、あすなろ保育園を併設する。
令和6年3月26日	幼保連携型認定こども園旭幼稚園の認可を受けた。

- (3) 設置する学校 認定こども園旭幼稚園
設置する保育施設 あすなろ保育園

◎設置する部門・園児数の状況（令和6年5月1日現在）

部門名	年齢	園児数
旭幼稚園	年長（4クラス）	100
	年中（4クラス）	95
	年少（4クラス）	82
	満3歳児（1クラス）	11
あすなろ保育園	2歳児（1クラス）	24
	1歳児（1クラス）	18
	0歳児（1クラス）	5
計	16クラス	335

◎設置する施設の教職員数（令和6年5月1日現在）

	本務 教諭	本務 職員	小計	兼務 教諭	兼務 職員	小計	合計
旭幼稚園	26	4	30	23	5	28	58
あすなろ保育園	11		11	6	1	7	18

◎役員等の概要（令和6年5月1日現在）

職名	人数
理事長	1
理事	6
監事	2
評議員	13

※補償契約について

被保険者 理事、監事、評議員
 保険会社 三井住友海上保険 株式会社
 契約の内容 支払限度額 一連の損害賠償請求につき 500,000 千円
 保険期間中 500,000 千円
 保険期間 令和6年4月1日午後4時から令和7年4月1日午後4時まで
 この補償は契約によって職務執行の適正が損なわれないようにするための措置

2. 事業の概要

- (1) 認定こども園における幼児教育・保育・乳児教育
- (2) 移行6年目になり、保育は安定して順調に推移しているが、少子化に伴い本園にも園児数の減少があらわれている。
- (3) 施設の状況
 - 園地の総面積 7,966 m²
 - 園庭面積 2,792 m²
 - 園舎面積 2,222 m²
 - ※前年度変更なし
- (4) 年間行事
 - 入園式、園外保育、サマーパーティー、すいか割り、運動会、おまつりごっこ、S L遠足、バス遠足、クリスマス発表会、豆まき、ひなまつりなかよし会、

卒園式、誕生会（毎月）、避難訓練（毎月）

(5) 当該年度の重要な契約

幼保連携型認定こども園として運営開始、きのこ山の改修、ワンちゃん滑り台の設置、自園給食から委託給食へ変更、AED 設置救急ステーションの認定

- ・係争中の事件等については一切ない。
- ・決算後に生じた学校法人の重要な事実もない。

3. 財務の概要

(1) 決算の概要

貸借対照表、収支計算書については別紙参照。

- ・決算については良好であり安定した経営状況である。
- ・借入金は一切ない。

4. 事業報告

(1) 事業報告

◎認定こども園旭幼稚園

旭幼稚園は幼稚園として昭和 28 年に現在地に設立し、今年で 70 年になります。そして、平成 30 年 4 月より認定こども園としてスタートし、また、令和 6 年 4 月より幼保連携型認定こども園として新たにスタートしました。幼保連携認定こども園は幼稚園と保育園の両方の機能を併せ持っている施設です。また、認定こども園の認定には 1 号認定から 3 号認定まであり、子どもの年齢と保護者の状況によって認定されます。どの認定でも、施設の受け入れによってこども園に入園できるので、保護者は各家庭にあわせて選ぶことができます。

幼稚園児（1号認定児（新1号認定・新2号認定））、保育園児（2号認定児）が在籍し、午後 2 時までは、子ども達は違和感なく楽しく過ごしています。しだいに 1 号認定、2 号認定とそれぞれが自分たちの居場所を心得て行動できるようになりました。大きな成長と思います。

令和 4 年度は満 3 歳児クラスの新設を行い、6 月よりスタートさせました。これに伴い次年度の年少クラスの園児の確保ができ、より安定した運営が行えました。アンケート調査では、保護者から未満児クラスで集団行動を経験することによって「できる」ことが多くなった、年少になる準備ができて安心感が持てたなどのお声をいただきました。

旭幼稚園は認定こども園となり、保育園「あすなる保育園」を併設しました。初めての経験で職員も研修等を重ね準備して平成 30 年 4 月を迎えたことから、緊張感のあるスタートでしたが、子ども達の成長に支えられ無事に 6 年を終える事ができました。職員の頑張りもありますが、園の試行錯誤にもかかわらず支援いただいた保護者の方のおかげと感謝しております。また、令和 6 年 4 月から幼保連携型認定こども園となり、認可保育園となりました。これまで以上に皆様に安心してお子様を預けていただき、喜んで登園していただけの保育園にしたいと思います。

(2) 教職員の採用

幼稚園教諭の採用が難しいと言われる中、令和6年度では4名の新卒の採用ができました。この4名の教諭を丁寧に指導して才能を伸ばすことができるよう努める所存です。そして、保護者や子ども達からも信頼される先生になることを期待しています。

(3) 施設・設備の整備

子ども達にとって安心して安全に遊び学べる施設・設備は幼稚園経営の基本です。その為に毎年整備の予算を組んで施行すると同時に将来の園舎建替えも計画を立て基本金という積立金で準備をしております。また、その長期計画に合わせて園舎の延命のメンテナンスも毎年計画を立てて行っています。

(4) 未就園児の支援

SunSun キッズという子育て支援の会をつくり、月に2回程度開催しています。申込みが多く、たくさんの方にご参加いただくのは難しいところですが、色々な工夫を重ねて多くの方にご参加いただき好評を得ております。入園面接でも SunSun キッズが良かったとの声をたくさん聞けてうれしく思っておりますが、その場の利用だけとならない様に入園につながる子育て支援の会となることを切に願います。

(5) 和の文化

裏千家の茶道を山口市でも高名な井上宗葉先生に10年ご指導いただき、現在は前田宗和先生にご指導いただいて7年目になります。本格的な茶道と礼を子ども達に教えていただき、子どもとはいえ本物を教える大切さを改めて感じています。

(6) 職員研修

職員研修は、フレーベル社のオンライン研修や対面式研修も積極的に受けています。特にキャリアステージに応じて継続的に資質・能力の向上に取り組むことができるよう、計画的に研修を実施するという旭幼稚園の研修基本方針に基づき、中堅教員研修会、乳児教育研修会などに参加しレベルアップを図りました。

また、幼小連携に関する研修にも参加し、幼稚園から小学校への架け橋の大切さを改めて感じました。

これらの研修を通じて、教職員の意識改革や組織としてのマネジメント、意欲ある人材の育成・定着を目指すことができるよう努めました。

(7) 幼保小連携

今年度は、夏休み前のサマーパーティーを行った際に近くの小学校へ行き実際の授業に子ども達を参加させていただき小学校への期待を高めました。

また、近くの小学校より県教委派遣の教諭をお迎えして幼保小連携について学んだ時の内容を生かし、小学校教育についてや年長児をいかに成長させて小学校へ進学させるかなどを職員間で共有しています。

それ以外にも連絡協議会等へ参加して情報交換し、スムーズに小学校へ上がれるよう

に日々の保育も心がけています。また、理事長も大歳小学校の学校運営委員となり小学校教育への連携及び情報収集に努めています。

(8) 食育の推進

旭幼稚園は素晴らしい給食施設を持っています。しかしながら、調理員の減少に伴い自園調理が難かしい状況となり、令和6年度は自園の給食施設をつかって委託業者（なごみキッズサービス）に温かい給食を提供してもらいました。

業者委託となりましたが、旭幼稚園の栄養士とともに業者と連携をとりながら、旭幼稚園の充実した給食施設で今まで以上に美味しく、食に興味をもてる給食を提供しました。

また幼少期から味覚の記憶を植え付けるため自作で収穫した野菜等を利用したメニューを提供しました。

(9) ICT化の推進（情報通信技術）

教職員の働き方改革、労働時間軽減の上から、ICT導入は必須です。今やパソコンだけでなく、音声をそのまま文字、文章化でき、実際に使っている幼稚園もあります。令和5年度から各クラスにパソコンが配置され、ICTの環境も整いましたので、パソコン等を利用することによって、職員が幼児教育、保育にさらに専念できるようになりました。

なお、令和3年度から保護者へ子どもの園生活の様子を動画配信しており好評を得ています。

(10) 防災

旭幼稚園では避難訓練を毎月1回義務付けて行っています。（年12回）火災、水害、地震、津波、不審者等交互に実施し、子ども達も緊急事態に対して体で覚えてきています。しかし、災害は忘れたころにやってきます。突発的なものであるからこそ毎回設定を変えて真剣に取り組んでいます。

また、令和3年度から非常通報装置も設置しており、ボタンひとつで消防や警察に直接通報できるようになりました。今年度は避難訓練の際も活用し、非常時は誰でも使えるように訓練しました。

災害時に保護者へ子どもの引き渡しをする訓練についても実地での訓練を織り込んでいます。園では保護者の迎えのみ引き渡しをしますが、安全が確認できるまでは園内に親子で留め置く方針です。

(11) 役員賠償責任保険

学校法人の理事、監事、評議員の方を対象とした役員賠償責任保険に加入し、安心して「学法」の運営に参画していただけるように配慮しております。

終わりに当たって理事長より報告させていただきます。

「私学経営は基本無借金経営である」をモットーに藤村学園は経営にも力を注いでおります。

令和2年度より、基本金2号をスタートし5年目となり10年計画の長期計画を立て、将来の園舎改築に備えております。しかしながら、幼稚園は学校であるので基本の教育経費の投資も全国平均を維持し、バランスのとれた経営をしております。

また、子どもたちが楽しく関心をもてるようにテレビを使った英語教育や指で考える折り紙教育など、他に類のない「遊びながら学ぶ楽しさを身につける教育」を令和3年度から実施しています。子供たちがたくさん感動して、将来豊かな人生を送って欲しいという思いから取り入れています。

給食費に関しましては、物価高騰に伴い食材も高騰しているため令和5年度より園児は月当たり900円値上げとなりましたが令和6年度は据え置きとしました。

令和6年度はバスの利用料金を無料とし、感染症などで学級閉鎖となった子どもの預かり保育料のキャンセル代を無料としました。今後も保護者の方がより利用しやすい仕組みづくりに励んで参ります。

最後になりますが、前述のとおり令和6年4月から幼保連携型認定こども園として新たにスタートしました。いろいろな縛りもあり運営が複雑にはなりましたが、教育・保育を一体的に行え、幼稚園と保育園の両方の良いところを組み合わせた施設です。これからも皆様により利用しやすく愛される幼稚園として邁進していく所存です。

また、私事ではありますが、令和6年度は私も保育士の免許を取得しました。勉学やピアノ等を励む中で、先生たちの温かく手厚い保育の大変さも身に沁みて感じているところです。同時にこれを機に改めて全職員一丸となって旭幼稚園の乳幼児教育をより発展させていくことが、私の責務と思っています。